



# お知らせ

News



## 【文科省AP関連】学生情報システム（Hi!way）を使った学修活動のPDCAサイクルの確立

2015年01月28日

本学の学生情報システム（「Hi!way：ハイウェイ」という愛称です）に、学修活動のPDCAサイクルを確立し、学生が「自ら学ぶ」スタイルを身に付けることを支援します。

学修活動のPDCAサイクルは、「目標設定→振り返り→目標設定」を基本プロセスとしており、学生は、定期的に自身の学修活動を振り返ること、学修の到達度と次に取り組むべき課題を認識することができます。

Hi!wayで、その学期の学修状況（免許・資格を含む）や「4×3の比治山力」の経年変化を可視化して、学生に気づきを促し、PDCAサイクルを回す助けを行います。

また、蓄積された活動記録や自己成長に関する情報を、進学・就職活動に活かすことができます。

Hi!wayの中でのPDCAは、下の図で示されるように実現されます。

PDCAの基盤としてのHi!wayの各機能は、つぎのような役割を持ちます。

ハイステップ（Hi!step）：日本システム技術株式会社の「マイステップ」を基盤とした記録簿仕様であり、「目標設定（学期開始前）」や「自己評価（学期末）」のような一定時期に記録する使い方と、「学修記録」「課外活動記録」「就職活動記録」「気づき・変化メモ」等、日常的に記録する使い方があります。

クラスプロファイル（日本システム技術株式会社の商標）等：シラバスや授業資料、課題提出など、日々の授業に必要な機能を備えています。また、出席確認や休講等の連絡については別のタグで表示されます。

LMS（学習管理システム）：マルチメディア的情報を蓄積できるe-learning機能により、授業外学習を促進し、学生の主体的な学びを支援します。

ハイチェック（Hi!check）：本学独自の方法で、「成績の推移」「4×3の比治山力」「免許・資格」の三つを、学生にとってわかりやすい表現で可視化します。

これらの機能に基づく学修活動のPDCAはつぎのようなサイクルとなります。

PLAN（目標設定：学期開始前）

学生自身の自己実現に向けて、学期の始めに目標の設定とそれを達成する方法等を記録することで、その実現に向けた充実した学生生活を送ることができます。初年次セミナー、キャリアデザイン、ゼミナール等でチューターと面談しながら行うことも考えられます。

DO（日々の学修活動等の記録）

学修活動、課外活動や就職活動等の状況を記録しておくことにより、現段階の活動状況の把握や事後に活動の振り返りを行うことができます。学生による定期的または随時的入力をどのように促すか、それに対する教員の対応についても検討する必要があります。

CHECK（検証）

学期末に、当該学期の出席状況、成績表等、並びに「ハイチェック（Hi!check）」から得られる情報（「成績の推移」「4×3の比治山力」、「免許・資格」）を確認・検証します。これにより、学生自身の気づきや動機づけ（自己改善）を促すことができます。

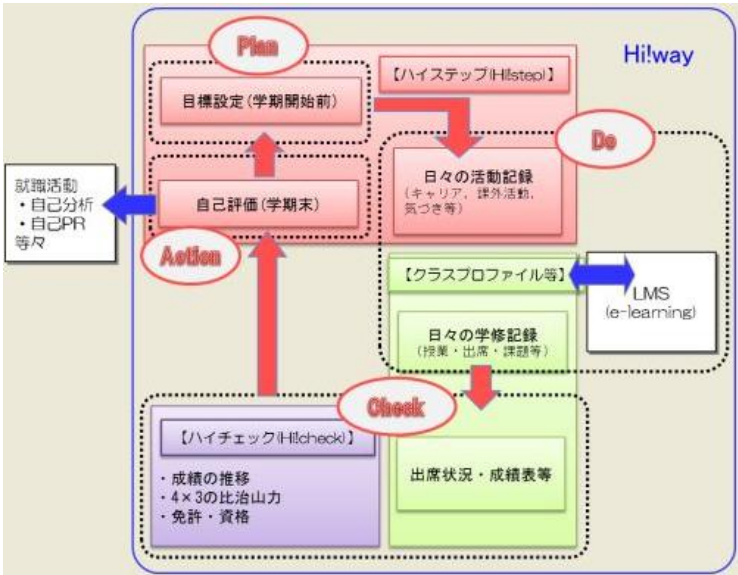
## ACTION（自己評価）

学期ごとに設定していた目標に対して、どのくらいその目標が達成できたかなどを総括的に自己評価し記録します。チューター等の指導を仰ぎながらも学期末に行い、学生自身の自己実現を進めていきます。

この後再び、PLAN（目標設定：学期開始前）に向かってサイクルを形成しますが、蓄積された活動記録や自己成長等の多くの情報から、学生は進路に必要とされる情報を取り出して進学・就職活動に活かしていくこともできます。

\*\*\*\*\*

以上のようなPDCAサイクルの基本設計をもとに、学内合意を得ながら、平成27年度後期からの運用スタートを目指して、詳細設計を進めています。



もどる

比治山大学・比治山大学短期大学部 〒732-8509 広島市東区牛田新町4丁目1-1